

8

August  
2018

No.412

# JAPIC News



● 今月の表紙 | 向日葵

## Contents

### ■ 巻頭言

#### 医薬品産業を取り巻く環境変化について

日本製薬団体連合会 会長 手代木 功 …………… 2

### ■ インフォメーション

医薬品集発刊!

JAPIC「医療用医薬品集 2019」検索用CD-ROM付 8月発刊 …… 4

JAPIC「一般用医薬品集 2019」9月初旬発刊!

「医療用医薬品集 薬剤識別コード一覧 2019」8月発刊

### ■ トピックス

「平成30年度 JAPICユーザ会」を開催しました …………… 5

「理事会」「評議員会」の概要報告 …………… 6

### ■ コラム

くすりの散歩道No.123「趣味を楽しむ」

(一財)日本医薬情報センター 業務・渉外担当 奥山 透 …………… 7

### ■ 連載コラム

「プレアボイドや疑義照会への

医薬品情報データベースの活用」第5回

(一財)日本医薬情報センター データベース検索サービス課 井上 彰 …… 8

外国政府等の医薬品・医療機器等の安全性に関する規制措置情報より(抜粋) …………… 10

■ 図書館だよりNo.338 情報提供一覧 …………… 11

## 医薬品産業を取り巻く 環境変化について

日本製薬団体連合会 会長  
手代木 功 (Teshirogi Isao)



日本製薬団体連合会会長を拝命しております塩野義製薬の手代木です。この度は、JAPIC NEWSの「巻頭言」を寄稿する機会をいただき感謝申し上げます。

最初に日本製薬団体連合会（以下、日薬連）について紹介いたします。日薬連は昭和23年10月16日に設立された医薬品企業の業態別団体と地域別団体から構成される連合体です。地域別団体は東京、関西をはじめとする16の団体、そして業態別団体は新薬、ジェネリック医薬品、OTC医薬品など多岐にわたる医薬品を扱う15の団体より成り立っており、言い換えれば「全てのくすり」を扱う団体と言っても過言ではありません。

医薬品のライフサイクルを考えてみます。医薬品は長い年月をかけて研究開発され、新薬として誕生し人々の健康に貢献することになります。その一方で、新薬としての役割は特許の満了とともにジェネリック医薬品に託され、そして蓄積されたデータを担保に、その役割をOTC医薬品等に譲り渡す場合もあります。世界中の人々は、既にある治療薬の更なる有効性や安全性、利便性の向上だけでなく、未だ治らぬ病気の治療薬を求めており、このような期待に製薬企業は応えていかなくてはなりません。新薬を創出できる国は世界でも数えるほどしかありません。以下、アジアで唯一の新薬創出国である日本の医薬品開発について触れたいと思います。

医薬品開発の歴史では、疾病構造の変化とともに創薬標的も変化してきました。公衆衛生が発展途上の時代には感染症治療薬、高度経済成長の時代には高血圧や糖尿病といった生活習慣病治療薬など、その時代・時代の社会

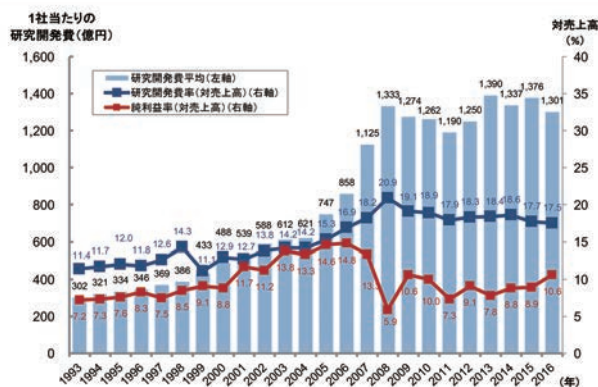
的ニーズに合致した医薬品が生み出されてきました。近年では、有効な治療方法が確立されていない疾病、アンメット・メディカル・ニーズが高まっており、一部のがんをはじめ難病や希少疾病等、有効な治療法がなかった疾病においても多くの革新的新薬が誕生し、治療満足度が大幅に向上しつつある状況です。しかしながら、多くのがんや認知症など未だ満たされない医療ニーズが残存していることも事実です。社会構造の変化や医学・薬学の進歩によって、創薬ターゲットがより複雑な病因・病態の疾病へと移り変わるにより、革新的新薬の創出は年々難しくなる一方です。

また、創薬手法については、モダリティが低分子医薬主体から、抗体を含む蛋白質医薬、ペプチド医薬、核酸医薬、細胞医薬、再生医療等と多様化が急速に進んで

図1

### 国内大手製薬企業の研究開発費と利益率の推移

OPPI  
Office of Pharmaceutical Industry Research



注)1.対象会社:大手10社  
 ~2004 武田薬品工業、三共、山之内製薬、第一製薬、大正製薬、エーザイ、塩野義製薬、藤沢薬品工業、中外製薬、田辺製薬  
 2005 武田薬品工業、アステラス製薬、エーザイ、三共、第一製薬、中外製薬、三菱ウェルファーマ、大日本住友製薬、塩野義製薬、大正製薬  
 2006 武田薬品工業、アステラス製薬、第一三共、エーザイ、大日本住友製薬、三菱ウェルファーマ、塩野義製薬、田辺製薬、大正製薬、小野薬品工業  
 2007~ 武田薬品工業、アステラス製薬、第一三共、エーザイ、田辺三菱製薬、大日本住友製薬、塩野義製薬、大正製薬、小野薬品工業、大塚ホールディングス(2007年は大塚製薬の連結決算値を採用)  
 2. 1999年からは連結ベース。  
 3. 2003年の中外製薬は4月~12月の変則9ヶ月決算である。  
 出所:SPEDIA(株式会社ユーザベース)、有価証券報告書  
 出典:日本製薬工業協会「DATA BOOK」を基に医薬産業政策研究所にて作成



いることから最新の科学技術を常に取りこむ必要があります。こういった背景から創薬プロセスの全てを自社で行う自己完結型から、大学等のアカデミアやベンチャーと協働するオープンイノベーション型への移行が加速しており、既存のビジネスモデルではなく、全く新しい戦略を立案し挑戦していかなければならない状況にあります。

近年の研究開発状況を見てみると、製薬協の調査によれば、基礎研究から承認取得に至る過程において2000年では463,961の合成化合物から承認取得に至った医薬品は36であり、その確率は約1/1万3千でしたが、2016年では674,850の合成化合物から26医薬品の承認取得数であり確率は約1/2万6千と新薬創出の機会がさらに低くなりました。一方で、研究開発の費用は年々高騰しています。総務省「科学技術研究調査報告」によると医薬品産業の研究開発費は2000年の7462億円から、2016年は1兆3516億円と約2倍に達しています。このように研究開発生産性が低下する中、国内大手製薬企業の研究開発費と利益率の推移を見ると、この数年は純利益率の約2倍の研究開発費率を維持している状況が続いており

(図1)、国際競争の激化も考慮すると、研究開発を取り巻く事業リスクはさらに増大していくものと考えられます。

また国内の医薬品産業を取りまく環境に目を向けますと、日本の医療は世界に冠たる国民皆保険制度を誇ってきましたが、近年、少子高齢化の進展や財政赤字の拡大等を背景に政府の歳出抑制策が一段と強化され、医療費の「負担」と「給付」の在り方がより一層見直される状況にあります。特に今年度から実施された薬価制度の抜本改革に基づく結果は、医薬品業界サイドから見ると、残念ながら「国民皆保険の持続性」と「イノベーションの推進」の両立を目指すという当初の趣旨からはほど

遠いものとなりました。医薬品産業は「イノベーションの推進」により、患者さんが待ち望む革新的新薬の創出を加速させ、利便性、経済性の高い医薬品を創出することで、「医療の質の向上」と「国民負担の軽減」の実現に大きく貢献を果たせるものと信じています。しかし、今回の結果は、医薬品産業の新薬開発のモチベーションを著しく低下させるだけでなく、イノベーションの阻害やドラッグ・ラグを助長することにも繋がりがねません。今回の制度改革が、医薬品の開発・製造・流通等にどのような影響を及ぼすのかを注視し、次期薬価改定に向けて、行政と意見をぶつけていくことの重要性を強く感じている次第です。

一方、医薬品の創出という入り口においては、医薬品産業の育成と創薬力強化等の観点から「医薬品産業強化総合戦略」が見直され、「日本創薬力強化プラン」が策定されました(図2)。これは「健康・医療戦略」も踏まえた上で「革新的医薬品・医療機器創出のための官民対話」等における医薬品産業の意見も取り入れ、厚生労働省が策定したものです。

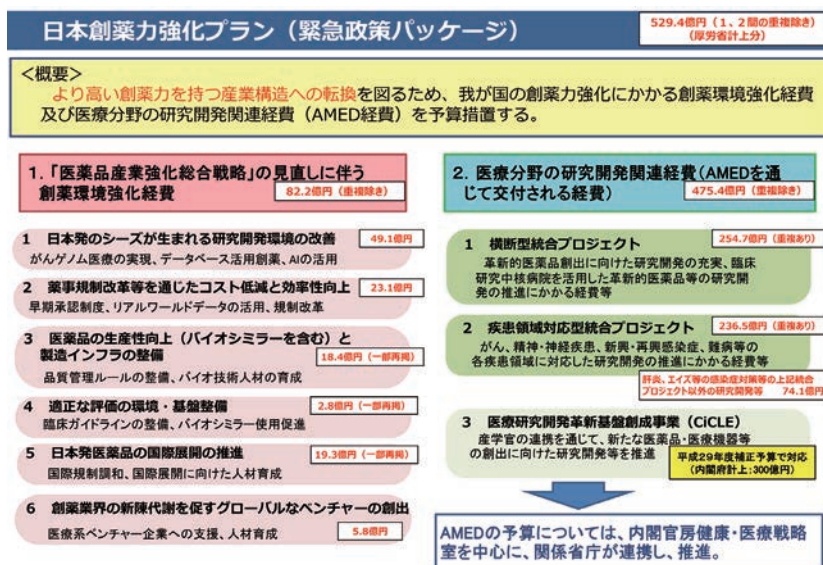
この中で述べられている、医薬品産業発展への大きな期待に十分に込めていくことと、求められている「国民への良質な医薬品の安定供給」・「医療費の効率化」・「産業の競争力強化」を三位一体で実現することこそが、日本の社会保障、経済発展に貢献することと確信していますので、日業連として積極的に推し進めてまいり所存です。

医薬品産業としての使命は、世界で待ち望まれる患者さんが望まれる適切な医薬品を安定的に届けることです。しかし、そこに留まっては真に高質な医療に貢献を果たすことはできません。すなわち、患者さんや医療従事者の方に使って頂いて初めて医薬品の価値をお届けしたことになるのです。そして、医療現場で使って頂くために有効性・安全性・品質をはじめとした様々な「情報」がモノとしての医薬品に付加される必要があります。

寄稿をご依頼いただいた日本医薬情報センターの役割、患者さんへ情報提供される医療関係者の役割、そして医療関係者に情報提供する医薬品企業の役割、これら全ての役割が十分果たされることによって、患者さんのご期待に応えられることと思います。

最後に、日本医薬情報センターの活動によって、医薬品の適正使用情報の正確な伝達が、今日の医療に貢献していくことを心より祈念し寄稿の締めとさせていただきます。

図2



## 医薬品集発刊!

### JAPIC「医療用医薬品集2019」検索用CD-ROM付 8月発刊

◆6月の後発品収載に対応◆

《本書の特長》

- ・2018年5月の新薬収載、6月の後発品収載分までの医療用医薬品を網羅(約22,000製品)
- ・医療用医薬品添付文書情報を有効成分(約2,200成分)ごとにまとめて掲載。約1,400成分については「構造式」も掲載。
- ・先発品(またはそれに準じるとされる医薬品)と後発品及び局方品が明確に区別できるように記載。
- ・同一成分内での剤形の違い・製品の違いにより効能・効果が異なる場合はその違いを明記
- ・医療用医薬品添付文書情報・一般用医薬品添付文書情報・医療用医薬品識別コード情報を収録し、最新医療用医薬品添付文書へのリンク機能\*を搭載した検索用CD-ROM(インストール版)を添付。

\*インターネットを経由してJAPICが運営するiyakuSearch掲載の添付文書PDFを表示

- ・本文2分冊+その他(付録、薬剤識別コード)1冊の3分冊

◆価格:¥13,000(+税)・B5判

〈お問合せ先:事務局業務・渉外担当 TEL:0120-181-276〉



### JAPIC「一般用医薬品集2019」9月初旬発刊!

《本書の特長》

- ・国内に流通する一般用医薬品をほぼ全て網羅(約11,000製品収録)した一般用医薬品集の定本。「使用上の注意」の最新通知が盛り込まれた便利で使いやすい内容。薬局・ドラッグストア等におけるDI活動の資料等にご活用ください。
- ・一般用医薬品集データは、日本製薬団体連合会の委託を受け、各製薬企業から提供された添付文書内容をもとに最新情報を収録。
- ・医薬品ごとのリスク区分の記載を本文及び索引に掲載。また、一般用医薬品販売時に文書による説明義務がある第1類医薬品をまとめた「第1類医薬品一覧」、スイッチ直後品目・劇薬等の「要指導医薬品一覧」を収録。
- ・付録には、重篤副作用疾患別対応マニュアル、国内副作用報告の状況、一般用医薬品のリスク区分一覧、一般用生薬製剤の使用上の注意、ブランド名別に成分の相違がよくわかるブランド名別成分比較表等の参考情報を収録。

◆価格:¥9,000(+税)・B5判

〈お問合せ先:事務局業務・渉外担当 TEL:0120-181-276〉



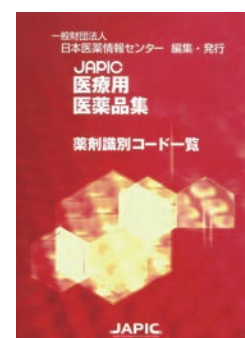
### 「医療用医薬品集 薬剤識別コード一覧 2019」8月発刊

《本書の特長》

- ・識別コードから薬剤の商品名を調べられる一冊。医療用医薬品集掲載の医薬品のうち添付文書に識別コード・包装コードの記載のある品目を掲載。
- ・掲載項目は識別コード、色・割線、商品名(会社名)、一般名、規格単位、薬効からなり、医療用医薬品集本文の掲載ページも記載。
- ・薬剤識別コードの数字順、英字順、マーク順に配列。

◆価格:¥1,000(+税)・B5判

〈お問合せ先:事務局業務・渉外担当 TEL:0120-181-276〉



## 「平成30年度JAPICユーザ会」を開催しました

JAPICでは、ユーザの皆様へJAPICが提供する安全性情報サービスを知っていただくため、毎年東京と大阪で「JAPICユーザ会」を開催しております。今年は6月11日（月）ブリーゼプラザ（大阪）、6月15日（金）日本薬学会長井記念ホール（東京）で開催し、東京120名、大阪40名の方にご出席いただきました。

ユーザ会は「平成30年度事業案内」「特別講演」の二部構成で行いました。

### ◆平成30年度事業案内

今年度の事業案内は、JAPIC全体の事業概要をご説明した後、最近お問い合わせをいただいている以下のJAPIC事業をご紹介します。

- ①JAPIC-Q関連サービス（JAPIC-Q、JAPIC-Q 医療機器情報、JAPIC-Q Plus、JAPIC-QX）
- ②外部データベースを利用した文献検索サービス
- ③海外規制措置情報JAPIC Daily Mail、JAPIC Daily Mail Extra
- ④添付文書情報関連サービス
- ⑤JAPIC AERS

多くの製薬企業様でご利用いただいているJAPIC-Q関連サービスやJAPIC Daily Mail、海外文献情報を提供する外部データベースを利用した文献検索サービスに関心が高く、添付文書情報関連サービスやJAPIC AERSには多くの方に興味を持っていただきました。

### ◆特別講演

平成30年度事業案内に続いて、独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 安全第一部長 上野清美 先生（東京）、安全第二部長 近藤恵美子 先生（大阪）を講師にお招きし、「医薬品医療機器総合機構（PMDA）の最近の安全対策業務について」と題して、特別講演を行いました。

PMDAにおける最近の安全対策業務への取り組みとして、以下の内容をご紹介します。

- ①添付文書の記載要領改正とその対応
- ②RMP関連の取り組み
- ③医薬品副作用報告等の収集・評価・安全対策の実施
- ④リスクコミュニケーション関連の取り組み
- ⑤医療安全に関する取り組み
- ⑥MID-NET<sup>®</sup>関連

ご参加いただいた皆様からは、PMDAの現状や安全対策への取り組みを理解する機会となり、大変参考になった、と高い評価をいただきました。

ユーザ会終了後に行いました懇親会には、多くの皆様にご参加いただきました。また、当日のアンケートにも多数のご意見をいただきまして、ありがとうございます。懇親会や当日のアンケートでいただきました課題・ご意見には真摯に取り組んでまいります。

今後とも、JAPICの安全性情報提供サービスにご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## 「理事会」「評議員会」の概要報告

平成29年度の事業報告及び決算についての理事会及び評議員会を5月25日(金)、6月13日(水)にそれぞれ開催いたしました。今回の主な議題でありました事業報告・決算報告においては、事業及び決算ともに概ね順調に推移していることをご報告し、原案どおり承認・議決されました(議題は以下のとおり)。なお、会員の皆様には、平成29年度事業報告書・決算報告書をご送付いたしました。

また、6月13日(水)の評議員会において評議員及び役員の変動が承認され、6月18日(月)の理事会において役付理事等が選定されましたので、以下のとおりお知らせいたします。

- 「平成30年度第1回(通算第142回)理事会」  
5月25日(金) 16:00~17:10、当センター4階会議室  
《議題》
  1. 平成29年度事業報告の承認について
  2. 平成29年度決算報告の承認について
  3. 公益目的支出計画実施報告の承認について
  4. 定時評議員会の招集の決定について
  5. 報告事項
    - (1) 維持会員等の異動について
    - (2) 代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告について

- 「平成30年度第1回(通算第44回)評議員会」  
6月13日(水) 16:00~17:05、当センター4階会議室  
《議題》
  1. 評議員の選任について
  2. 役員の変任について
  3. 平成29年度決算報告の承認について
  4. 報告事項
    - (1) 平成29年度事業報告について
    - (2) 公益目的支出計画実施報告について

- 「平成30年度第2回(通算第143回)理事会」  
6月18日(月) 16:30~16:40、当センター4階会議室  
《議題》
  1. 代表理事(会長及び理事長)、役付理事及び業務執行理事の選定について

### 【評議員及び役員の変動】

#### 《評議員》

- 退任: 加藤 弘之 (エーザイ株式会社 執行役)  
: 高田 義博 (前 日本製薬団体連合会 常務理事)  
新任: 黒川 康幸 (日本製薬団体連合会 常務理事)  
: 中濱 明子 (エーザイ株式会社 メディシン開発センター センター長 上席執行役員)

#### 《理事》

- 退任: 鈴木 洋史 (公益社団法人日本薬剤師会 副会長)  
: 部谷 敏郎 (武田薬品工業株式会社 日本開発センター シニアアドバイザー)  
新任: 川上 純一 (公益社団法人日本薬剤師会 常務理事)  
: 成川 衛 (北里大学薬学部 教授)  
: 林 正晃 (武田薬品工業株式会社 日本開発センター ファーマコビジランス部長)

#### 《監事》

- 退任: 小雀 浩司 (公益財団法人持田記念医学薬学振興財団 理事)  
新任: 水口 清 (持田製薬株式会社 取締役常務執行役員)

以上、6月13日付(※敬称略)

### 【役付理事及び常勤役員】

#### 《非常勤》

- 会長 寺田 弘 (新潟薬科大学 学長)  
副会長 中川 俊男 (公益社団法人日本医師会 副会長)  
川上 純一 (公益社団法人日本薬剤師会 常務理事)

#### 《常勤》

- 理事長 村上 貴久  
理事 五十嵐 浩  
多田 千里

以上 6月18日付(※敬称略)

# くすりの散歩道 NO.123

## 趣味を楽しむ

(一財)日本医薬情報センター 業務・渉外担当  
奥山 透 (Okuyama Toru)



趣味と言えば、旅行（飛行機が好きです）と食べ歩き。

国内の主な観光地は行きつくした感があり、最近では島旅（船も捨てがたいですが…）が多くなっています。昨年は、沖縄本島の東300キロの洋上に浮かぶ南北の大東島（島の周囲は断崖絶壁の孤島で、フェリーからはクレーンで乗降）、北海道サロベツ原野からの眺めが美しい利尻富士を擁する利尻島、最北の離島礼文島など、最果ての旅を楽しみました。ちなみに、国内最長飛行距離の新千歳-那覇線（1,397マイル）と、最短飛行距離の北大東-南大東線（8マイル）にも搭乗することができ、定期航路が休止された空港も含め国内の57空港を訪問。ひそかに国内各地の空の玄関を訪ねてみたいと考えています。

もう一つの趣味である食べ歩きは、自宅が横浜の中華街に近いこともあり、中国各地の料理を楽しんでいます。最近では人混みを避け、駅から離れた本牧（ほんもく）に佇むお店がお気に入りの一店となっています。医食同源・薬膳料理など、食べることが健康の基本であるとする中国古来の考えは良く知られていますが、薬膳料理を掲げるこの料理は、勉強熱心な店主にもかかわらず堅苦しい雰囲気はなく、気軽に訪れることができます。厨房が近いため、ひとたび調理が始まると店内はいかにも体に良さそうな香りに包まれますが、意外とこれが食の進む一因にもなっています。漢方薬としても使われる食材も多用されますが、漢方薬を得意としない私でも、紹興酒を片手に楽しんでいます。

横浜の開港は1859年ですが、その4年後にはインド人が横浜で商売を始めており、インドにとっては横浜が日本で初めての経済拠点だったようで\*、インド料理のお店も多くあります。たまに食べる本格的なインド料理も捨てがたく、インド映画が画面に流れ、スタッフすべてをインド人で切り盛りする関内のお店も、多少怪しい雰囲気を醸しながらも楽しんでいます。インドではスパイスが薬としても用いられており、これも医食同源の一例ではないでしょうか。ただし、脂も多用されているため、食べすぎには注意したいところです。

昨年はアジアではホーチミン、釜山、バンコクに行

く機会がありましたが、ベトナムでは料理を注文するとそれとは別に多量の野菜（葉物）がテーブルに並びます。それが少しでも減ると、ストップしない限りいくらでもお代わりが供されます。海外旅行では野菜不足を感じるがありますが、それとは無縁の地でした。韓国でも主菜以外に野菜などを中心とした副菜の小皿が多数提供されます。日本の韓国料理店でも見習ってほしいと思うサービスの一つです。タイの料理も多彩なハーブやスパイスが使われ、消化促進、新陳代謝向上などの効果があるようです\*\*。

限られた地域でのお話となりましたが、無意識のうちに医食同源を実践できるのがアジアの特徴ではないかと感じています。海に囲まれた日本では、魚を中心とした発酵食品も多く、これも医食同源の一つかもしれません。ちなみに、南大東島で買ったお土産の「シージャーキー」。マグロを特製のたれに漬けて乾燥したもので、発酵食品とまでは言えませんが、とても美味しく頂きました。取り寄せできないのが寂しいところです。

これからもいろいろなところを訪ねて、新しい味の発見を楽しみたいと考えています。

ちなみに、今年にかけて日本の東西南北\*\*\*の果て全てを訪問したのはここだけのお話とさせていただきます。

\*: 一般社団法人 横浜インドセンター  
<http://www.yokohama-india.or.jp/>

\*\* : 日本タイ料理協会  
<http://www.thailand.or.jp/>

\*\*\*: 一般人が行くことのできる限界地



# 「プレアボイドや疑義照会への医薬品情報データベースの活用」第5回

(一財) 日本医薬情報センター データベース検索サービス課 井上 彰 (Inoue Akira)

「プレアボイドや疑義照会への医薬品情報データベースの活用」と題して、実際にあったプレアボイド事例や疑義照会事例を参考に、問題解決、回避のための医薬品情報データベースの検索方法のポイントを紹介するシリーズです。事例は、公益財団法人日本医療機能評価機構の薬局ヒヤリ・ハット事例収集分析事業からの事例を参考にさせていただきます。

前回に続き、事例番号:000000037998を元に、医薬品同士の相互作用について、インタビューフォーム (IF)、文献データベース、そして原著文献を辿る流れとして、今回は原著文献 (論文) を閲覧します。

## 事例2: 医薬品相互作用の文献情報をめぐる (3) 原著文献 (論文)

妊婦の患者さんが歯科の処方箋を持って来局しました。患者さんは産婦人科でフェロミア (50) を処方されています。

薬剤師Bさんは、今回処方されたセフゾンカプセル (100) とフェロミア (50) の併用により、セフゾンの吸収が低下してしまうことに気がきました。Bさんは処方医に対して、患者さんがフェロミア (50) を服用していることについて問い合わせを行い、セフゾンカプセル (100) から同じセフェム系で吸収が阻害されないケフラールカプセル (250) への変更を提案し、そのように変更となりました。

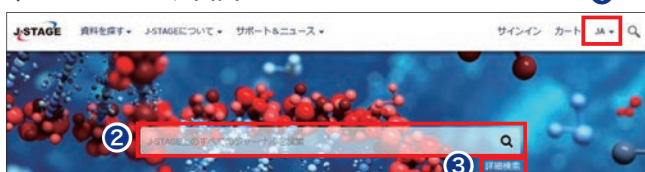
前回までに、独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 (PMDA) からIFを、文献データベースであるiyakuSearch Plusで文献の詳細な書誌情報を検索しました。

今回は、総合電子ジャーナルプラットフォーム (J-STAGE) を使ってフェロミア®錠IFの引用文献⑱の論文を閲覧します。

### ◇引用文献⑱の書誌情報 (iyakuSearch Plusより)

抄録番号	J 199503355
標題	第15回日本臨床薬理学会 血清直接注入HPLC法による血清中Cefdinir (CFDN) 測定法の確立と薬物相互作用解析への応用
著者名・所属	新岡 琢也 (五所川原市立西北中央病院薬剤部)、木村 せつ、大久保 正、菅原 和信
雑誌名	R25/臨床薬理 26 (1) 145-146/ (1995.3)

### ◇J-STAGEトップ画面



初期画面が英語表示になっている場合は、  
①の言語選択がENとなっているので、  
▼をクリックすると日本語表示に切り替えができます。

左記がJ-STAGEのトップ画面です。②のテキストボックスに、標題「血清直接注入HPLC法による血清中Cefdinir (CFDN) 測定法の確立と薬物相互作用解析への応用」を入力して検索します。

左記の標題で検索すると、1件の論文がヒットします。書誌情報から、目的とする論文であることが確認できます。「PDF形式でダウンロード」をクリックすることで、論文のPDFファイルの表示閲覧が可能です。

### ◇検索結果



「フリー」は、閲覧に購読契約などが必要のない論文です。

ところで、JAPICでは、学会の名前や「症例報告」、「原著」などを標題に含めて書誌情報を作成しています。そのため、iyakuSearch Plusの検索結果の標題には、学会名である「第15回日本臨床薬理学会」も含まれています。しかし、データベースによっては含まれていない場合もあるため、削除して検索の方がよいでしょう。

論文の標題以外からの検索も可能です。一例として、雑誌名や発行年等から検索してみます。トップ画面に戻り、③の「詳細検索」をクリックします。すると、下記の詳細な検索画面が表示されます。ここに書誌情報から得られる条件を入力していきます。



まず、④のプルダウンから「資料タイトル」を選択し、右のテキストボックスに「臨床薬理」と入力します。複数の検索条件を設定する場合は、追加ボタン(⑤)をクリックすると検索ボックスが一行追加されます。追加されたボックスの④を「著者名」にし、右のテキストボックスに「新岡 琢也」と入力します。

スクロールして下部にある発行年を1995年から1995年までに設定し、最下部の検索ボタンをクリックすると、先程と同様の論文がヒットします。

J-STAGEの掲載誌は多くがフリーで閲覧できますが、論文を閲覧する条件を設定している掲載誌も一部あります。条件としては、発行する学会に所属していること、購読契約を必要としていること等、発行機関によって様々です。発行から一定期間経過するとフリーになるものもあります。検索の際は学会資格や購読契約等も確認しておくといでしょう。

[No].抄録番号	J201703887	付加情報
標題	〈原著〉療養病床を有する医療機関における薬剤耐性菌および抗菌薬使用の現状,および感染症診療への教育的介入効果; Epidemiology on Multidrug-resistant Organisms and Effective Antimicrobial Stewardship through a Multifaceted Educational Intervention in a Japanese Long-term-care Hospital	
著者名・所属	森岡 慎一郎, 大曲 貴夫(国立国際医療研究センター病院国際感染症センター), 森江 美美子(北中城若松病院薬剤課)	
雑誌名	K80/日本環境感染症学会誌/(ISSN:1882-532X);(J/32(4)201-209/(2017.7)	J-STAGE

J-STAGEへのリンク

iyakuSearch Plusでは、J-STAGE掲載論文に直接リンクしているものがあります。iyakuSearch Plusの雑誌名欄にJ-STAGEのアイコンがあるものが対象です。今回検索した古い論文のように、J-STAGEで公開されていてもリンクがない場合が一部ありますが、多くの論文はワンクリックでJ-STAGEの論文を直接閲覧することが可能です(先述の閲覧制限がある場合はこの限りではありません)。

iyakuSearch PlusとJ-STAGEを便利に使われてみてはいかがでしょうか?

### J-STAGE (<https://www.jstage.jst.go.jp/>) とは

J-STAGEは国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST) が構築した日本の科学技術情報の電子ジャーナル出版を推進するプラットフォームです。2,000誌以上のジャーナルや会議録などの学術出版物が公開されています。また、日本の科学史に重要な学術雑誌について過去の紙媒体から遡って電子化し公開しており、医業分野では長井長義や鈴木梅太郎や高峰譲吉などの論文が公開されています。

#### 【JAPIC News ご購読者様限定】

日本医薬情報センターでは、iyakuSearch Plusを無料でご利用いただけるユーザIDとパスワードを期間限定でご用意いたしました。是非一度お試しください。(有効期間:2019年3月31日まで)

iyakuSearch : <http://database.japic.or.jp>  
 ユーザID : japicnews01  
 パスワード : f6DkymUk  
 iyakuSearchに関するお問合せ先 : [iyaku-search@japic.or.jp](mailto:iyaku-search@japic.or.jp)



※「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業」では医療安全の推進を目的とし、薬局から報告されたヒヤリ・ハット事例等を収集、分析し、その情報を提供しています。公益財団法人日本医療機能評価機構が運営しており、ホームページ (<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>) で公開されています。  
 ※J-STAGEは2017年11月25日に新インターフェースへ移行しました。本稿執筆時点では、移行前のためJSTの許可を得て新インターフェースの評価版、画面を使用しております。本稿作成にあたり、J-STAGE評価版、画面等の使用許可を下さいました科学技術振興機構に深く御礼を申し上げます  
 (この記事は、「大阪府薬雑誌」Vol.69 No.1 p.9-p.11 (2018)に掲載されたものを、(一社)大阪府薬剤師会様の許諾をいただき転載したものです。)

# 外国政府等の医薬品・医療機器等の 安全性に関する規制措置情報より – (抜粋)

2018年6月1日～6月30日分のJAPIC WEEKLY NEWS (No. 654-657) の記事から抜粋

## ■米FDA

- 米FDAの長官 (Scott Gottlieb) の声明: タイムリーなジェネリック薬の参入を妨害する手段としてブランド薬メーカーによるREMSプログラムの使用を避け、競争とアクセスを促進する新しい政策  
<<https://www.fda.gov/NewsEvents/Newsroom/PressAnnouncements/ucm609365.htm>>
- MedtronicのHeartWare HVAD SystemのClass Iリコルー電源とコントローラー間の意図しない断続的な電気切断により  
<<https://www.fda.gov/Safety/MedWatch/SafetyInformation/SafetyAlertsforHumanMedicalProducts/ucm609599.htm>>
- Maquet Datascope Corp.のCARDIOSAVE Hybrid Intra-aortic Balloon PumpのClass Iリコルー機器の操作に影響を及ぼし、治療が中断または遅延する可能性のある液体の侵入により  
<<https://www.fda.gov/Safety/MedWatch/SafetyInformation/SafetyAlertsforHumanMedicalProducts/ucm610123.htm>>
- 米国, LivaNova PLC (旧Sorin Group Deutschland GmbH) の特定のStockert 3T 温冷システムのDeep-Cleaning サービスが利用可能 (更新情報) : FDA Safety Communication  
<<https://www.fda.gov/MedicalDevices/Safety/AlertsandNotices/ucm610394.htm>>
- 様々な大動脈血管内グラフトシステム: 医療従事者向けレター; Type IIIエンドリークに関する更新情報  
<<https://www.fda.gov/Safety/MedWatch/SafetyInformation/SafetyAlertsforHumanMedicalProducts/ucm611193.htm>>

## ■Health Canada

- バープ付き縫合糸と小腸閉塞の潜在的リスク  
<<http://healthycanadians.gc.ca/recall-alert-rappel-avis/hc-sc/2018/66930a-eng.php>>
- 小児患者に対するBLINCYTO (blinatumomab) とbenzyl alcohol毒性  
<<http://healthycanadians.gc.ca/recall-alert-rappel-avis/hc-sc/2018/67016a-eng.php>>
- Health Canadaが医薬品および医療機器の安全性とサーベイランスをより強化するためのVanessa's Lawに関連する新しい規制を提案  
<<https://www.canada.ca/en/health-canada/news/2018/06/health-canada-proposes-new-regulations-linked-to-vanessas-law-to-further-strengthen-the-safety-and-surveillance-of-drugs-and-medical-devices.html>>

## ■EU・EMA

- metamizole含有医薬品に関するArticle 31 referrals  
<[http://www.ema.europa.eu/docs/en\\_GB/document\\_library/Referrals\\_document/Metamizole\\_31/WC500249891.pdf](http://www.ema.europa.eu/docs/en_GB/document_library/Referrals_document/Metamizole_31/WC500249891.pdf)>
- News and press releases: EMA, 膀胱癌におけるKeytruda (pembrolizumab) およびTecentriq (atezolizumab) の使用を制限  
<[http://www.ema.europa.eu/docs/en\\_GB/document\\_library/Press\\_release/2018/05/WC500249798.pdf](http://www.ema.europa.eu/docs/en_GB/document_library/Press_release/2018/05/WC500249798.pdf)>

## ■スウェーデン MPA

- チャイルドレジスタント包装を要求される可能性がある物質  
<<https://lakemedelsverket.se/english/All-news/NYHETER-2018/Substances-that-may-require-child-resistant-packages/>>

JAPIC事業部門 医薬文献情報 (海外) 担当

記事詳細およびその他の記事については、JAPIC Daily Mail (有料) もしくはJAPIC WEEKLY NEWS (無料) のサービスをご利用ください (JAPICホームページのサービス紹介: <<http://www.japic.or.jp/service/>> 参照)。JAPIC WEEKLY NEWSサービス提供をご希望の医療機関・大学の方は、事務局業務・渉外担当 (TEL 0120-181-276) までご連絡ください。

## 【新着資料案内 平成30年6月1日～6月30日受け入れ】

図書館で受け入れた書籍をご紹介します。この情報は附属図書館の蔵書検索 (<http://www.japic.or.jp/iyaku/index.html>) の図書新着案内でもご覧いただけます。これらの書籍をご購入される場合は、直接出版社へお問い合わせください。閲覧をご希望の場合は、JAPIC附属図書館 (TEL 03-5466-1827) までお越しください。

〈配列は洋書、和書別に書名のアルファベット順、五十音順〉

書名	著編者	出版者	出版年月
Rote Liste 2018	Rote Liste Service GmbH	Rote Liste Service GmbH	2018年
医療従事者のギモンに答える! トラブルに巻き込まれない著作権のキホン	服部 誠	南山堂	2018年3月
今日のOTC薬～解説と便覧～ 改訂第4版 解説と便覧	監修中島恵美、編集伊東 明彦	南江堂	2018年4月
食品添加物公定書 第9版	日本食品添加物協会	日本食品添加物協会	2018年4月
第十七改正日本薬局方 第一追補 解説書	日本薬局方解説書編集委員会	廣川書店	2018年3月

## 情報提供一覧

### 【平成30年7月1日～7月31日提供】

出版物がお手許に届いていない場合、宛先変更の場合は当センター事務局 業務・渉外担当 (TEL 03-5466-1812) までお知らせください。

情報提供一覧	発行日等	JAPIC作成の医薬品情報データベース	更新日
〈出版物・CD-ROM等〉		〈iyakuSearch〉 Free	<a href="http://database.japic.or.jp/">http://database.japic.or.jp/</a>
1. 「一般用医薬品 (経済コード)」2018年6月分 (HP定期更新情報掲載)	7月1日	1. 医薬文献情報	月 1 回
2. JAPIC 「医療用・一般用医薬品集インストール版 2018年7月版」	7月31日	2. 学会演題情報	月 1 回
3. JAPIC 「OTC医薬品CD-ROM 2018年7月版」	7月31日	3. 医療用医薬品添付文書情報	毎 週
4. 「JAPIC NEWS」No.412 8月号	7月31日	4. 一般用医薬品添付文書情報	月 1 回
〈医薬品安全性情報・感染症情報・速報サービス等〉 (FAX、郵送、電子メール等で提供)		5. 臨床試験情報	随 時
1. 「JAPIC Pharma Report海外医薬情報速報」 No.1139-1142	毎 週	6. 日本の新薬	随 時
2. 「医薬文献・学会情報速報サービス (JAPIC-Qサービス)」	毎 週	7. 学会開催情報	月 2 回
3. 「JAPIC-Q Plusサービス」	毎月第一水曜日	8. 医薬品類似名称検索	随 時
4. 「外国政府等の医薬品・医療機器の安全性に関する措置情報サービス (JAPIC Daily Mail)」No.4166-4186	毎 日	9. 効能効果の対応標準病名	月 1 回
5. 「JAPIC Weekly News」No.658-661	毎 週	〈iyakuSearchPlus〉	<a href="http://database.japic.or.jp/nw/index">http://database.japic.or.jp/nw/index</a>
6. 「感染症情報 (JAPIC Daily Mail Plus)」No.752-756	毎 週	1. 医薬文献情報プラス	月 1 回
		2. 学会演題情報プラス	月 1 回
		3. JAPIC Daily Mail DB	毎 日
		外部機関から提供しているJAPICデータベース	
		〈株式会社ジー・サーチJDreamⅢから提供〉	<a href="http://jdream3.com/">http://jdream3.com/</a>
		〈株式会社日本経済新聞社から提供〉	<a href="http://telecom.nikkei.co.jp/">http://telecom.nikkei.co.jp/</a>



# 医療用 医薬品集 2019



赤ジャピ40年の伝統を守り  
薬剤師を中心とした  
専門のスタッフが丁寧に作成しています。

2018年  
8月発刊予定



## 本書の特長

- ◆2018年6月後発品まで収載
- ◆約40年の編集実績による信頼と使いやすさ
- ◆国内流通全医薬品の最新で正確な添付文書情報をお届けします！
- ◆類似薬選定のための「薬効別薬剤分類表」と、「薬剤識別コード一覧」を収載
- ◆更新情報メールの無料提供（要登録）
- ◆CD-ROM付
- ◆分冊にて製作（ケース入り）

Windows版

### CD-ROM収録内容

- 医療用医薬品集
- 一般用医薬品集
- 薬剤識別コード一覧
- 薬価情報
- 後発品の全情報
- 添加物情報
- 最新添付文書画像(PDF)の表示機能付

要インターネット接続。医療用医薬品は週1回、一般用医薬品は月1回更新

13,000円(+税) B5判 約4,200頁(本文)

一般財団法人 日本医薬情報センター **JAPIC** 編集・発行  
丸善出版株式会社 発売

上記書籍の他、電子カルテやオーダリングシステムに搭載可能なJAPIC添付文書関連データベース(添付文書データ及び病名データ)の販売も行っております。データの購入希望もしくはお問い合わせはJAPIC (TEL 0120-181-276) まで。

# Garden

このコーナーは薬用植物や身近な植物についてのヒトクチメモです。リフレッシュにどうぞ!!

## るこうそう

縷紅草と書く。「縷」は細い糸という意味。学名: *Quamoclit pennata* (Desr.) Bojer 英名: Cypress vine。ひるがお科るこうそう属。熱帯アメリカ原産。日本には寛永年間に渡来し、今では野生化した帰化植物である。花期は夏から秋、ロート状の星型の濃紅色の花を付ける。種子は有毒、配糖体のquamoclin類やpiran誘導體quamopyran等を含有。(hy)



JAPICホームページより  
<http://www.japic.or.jp/>

HOME

サービスの紹介

ガーデン

Topページ右下部の「アイコン」からも閲覧できます。